

(一財)大阪科学技術センター 第1回会員懇談会 次第

日 時：2024年8月5日（月） 15：30～16：00

場 所：大阪科学技術センター8階 中ホール

議 第：大阪科学技術センターの事業実施状況について

1. 開会挨拶
2. 2023年度事業報告
 - ・普及広報事業
 - ・技術振興事業、ニューマテリアルセンター事業、地域開発促進事業
 - ・施設利用促進事業、総合企画活動
 - ・主な経営指標
3. その他
 - ・質疑、意見交換

【会員懇談会について】

大阪科学技術センターは、1960年4月、科学技術水準の向上ならびに関西産業発展を目的に創設され、時代の変化に対応しながら、関西における科学技術振興の中核機関として、分野を超えた産学官共創により経済活性化、情報発信、イノベーション創出、さらに次世代の人材育成支援など「人と科学のかけはし」として、各種事業を推進しています。

こうした事業活動は、会員の皆様のご理解・ご支援によって成り立っていますが、事業実施状況について会員の皆様に直接ご説明する機会がなかったことから、今般、会員の皆様を対象に、ご支援をいただいていることによって成し得た事業のご報告・ご説明の場として、また、会員の皆様の交流の場として、会員懇談会を開催させていただくこととしました。

(裏面につづく)

講演会(第 159 回 OSTEC 講演会/ISCO 特別懇談会併催)

日 時：2024年8月5日（月） 16：10～17：10

場 所：大阪科学技術センター8階 中ホール

テーマ：気候変動で変わりゆく雨 ～地球温暖化と豪雨・渇水～

講 師：大庭 雅道 様

（一財）電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部
気象・流体科学研究部門 上席研究員

2023年は世界各国で平均気温記録が更新され、世界的に観測史上最も暑い1年になりました。日本も7月後半から8月にかけて非常に暑くなり、夏（6月～8月）の平均気温は統計開始以降、最も高い値を記録しました。一方、近年我が国では毎年のように豪雨や洪水の被害が起きており、気象災害の激甚化の傾向も実感されるようになってきています。

今回の講演では、気候・気象予測解析をご専門にされ、地球規模の変動メカニズムの解明とその影響評価に取り組んでおられる大庭雅道様より、地球温暖化に伴う気温の上昇が、豪雨や渇水といった雨の降り方に与える影響について、最新情勢を含めてご講演いただき、豪雨災害への備え、事業継続と早期復旧の具体的計画策定の重要性について考えたいと思います。

～講師のご紹介～

大庭 雅道（おおば まさみち）

（一財）電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 気象・流体科学研究部門 上席研究員
専門分野は、気候学、気候ハザード、大気海洋結合モデル、再生可能エネルギー。2009年4月より現職。筑波大学大学院 生命環境科学研究科 地球環境科学専攻 博士（理学）。

交流会（立食）

日 時：2024年8月5日（月） 17：20～18：30

場 所：大阪科学技術センター 7階レストラン

参加費：無料